故郷（ふるさと）野付の自然４０

世界最小の哺乳類！

　雪の上をすごいスピードで移動する小さな黒いものを見つけました。よく見ると「トガリネズミ」でした。ネズミの名前はついていますが、実はモグラの仲間です。幾つかの種類はいますが、いずれも数センチほどの小さな体で、“世界最小の哺乳類”と言われています。

　こんな小さな体ですが、冬眠はせず、冬も活発に動きまわっていますので、その小さな体の体温を維持するためには、何かを食べ続けていなければならないと言われています。雑食なので、こうやって、雪の上を絶えず移動しながら食料を探していると思います。キツネに狙われそうですが、実はトガリネズミの仲間は体の一部の毒を持っているので、キツネやテンは食べないとの説もあります。

　また、トガリネズミの体からは、フルーツに似た爽やかな香りがするとの研究者もいますので、匂いを嗅げるチャンスがあれば是非、嗅いで見てください。

2018.2.19